

# 理兵衛堤防

千石の地を守る堤防

まつむら りへえ ただよし つねむら ただよし  
中川村にある、松村理兵衛忠欣、常邑、忠良の三代にわたって天竜川に築かれた堤防。  
1808(文化5)年に完成。天竜川および前沢川の大水のたびに決壊し、そのつど補強や増築を繰り返してきた。  
2010(平成22)年、護岸工事の際の調査で、前沢川の堆積物の上に造られた石堤が発見された。理兵衛堤防の  
初期のものと考えられ、一部はそのままの状態に埋め戻し、一部は移築復元されている。



復元された理兵衛堤防



天の中川橋と現在の石堤



## information

- アクセス  
松川ICから5km  
車→10分
- 所在地  
中川村片桐



水害常襲地帯

「天竜功業明神」

天竜川と前沢川が合流するこの地点は、増水時に本川の水流の勢いに支川の水流が跳ね返されて逆流、上流側の農地が水浸しになる水害常襲地帯だった。洪水のたびに大きな被害を受け、住民は高台への移住を余儀なくされていた。

堤防を作った忠欣・常邑・忠良の親子三代を崇めた呼び名。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)